

愛西市親水公園におけるビオトープの構築活動についてのメモ

愛知県立佐屋高等学校
(愛知県野生生物保護モデル校)

1 概要

愛知県愛西市の親水公園における「池」用の用地を、市民に親しまれる場所として活用したいとの依頼が佐屋高校に非公式にあった。これまで何度か水を入れてみたものの、管理する者がおらず、その都度断念し、近年は水の無い窪地として放置されていた。



2 活動状況

愛西市として、7月上旬に先ずは、池に水を入れた。取水口には、フィルターが設置してあり、外来魚は混入しない状態でスタートした。

依頼を受けた佐屋高校では、生物の授業、自然科学部の活動などにより、外来生物を極力入れないビオトープを目指し、親水公園や佐屋高校周辺での魚類を中心とした水生生物の採集活動を開始し、捕獲した生物名と数を記録し、その都度、池に放流を始めた。

日期	種類	内容
190820	スジエビ16, モツゴ5, モロコ4, キンフナ3。	お盆休みの間、休んでおりましたが、放流活動を再開しました。
190805	スジエビ15, モロコ1。	本日の放流。スジエビ15、モロコ1。最東端より放流。放流地点にて、6匹のミシシッピアカミミガメを確認。相当数の侵入がありそう。
190802	スジエビ12, デオカエビ2, モロコ2, モロコ1, タニシ10。	本日の放流。スジエビ12、デオカエビ2、モロコ2、モロコ1、タニシ10。いずれも最東端より放流。カワウナ、タニシの生存を確認。

佐屋高校 HP より

3 今後の展開

放流した生物の定着状況を確認し、生存可能な状況であれば、地元の小・中学校とも連携し、放流活動を継続する。また、現時点で侵入が確認されているミシシッピアカミミガメなどの外来生物の駆除も合わせて行い、在来種を中心とした地元の自然を観察できる場所を目指したビオトープ運営を行いたい。ゆくゆくは、四季を通して楽しめる市民憩いの場となるように・・・。